

議会だより

2016.1.22

No. 168

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showayamanashi.jp/>

しょうわ



特集

若者×議会
町の未来を考える! ②

議会改革 学ぶ議会を実施 ④

一般質問 ここが聞きたい ⑩

新企画 議員記者が行く ⑳

元旦初蹴り

(昭和町サッカースポーツ少年団)

町の未来を考える!

とのワークショップ

産業土木常任委員会

学生による提案

- I 魅力ある昭和町を創るための観光産業の活性化について
…杉浦醫院を生かした観光を!
…6次産業(町の特産品、ブランド産業)の活性化は?
- II 公共交通の現状と課題について
…コミュニティバスの導入を!
…駅周辺の整備を!
- III 昭和町的环境政策への提案について
…ゴミ問題に対する解決策を考えよ!
…沼公園に町の木(乙女椿)を植えて、生かしたイベントを!

議会の意見

杉浦醫院の活性化はとても良い案だ。イオンモールが増床されれば交通手段としてのバスの利便性が高くなる。町に提案したい。イベントにつなげ緑化対策を図る考えが良い。課題もあるがそれをヒントに実現できることがあれば。



教育厚生常任委員会

学生による提案

- I 昭和町の子育て政策について
…一人親家庭の支援の充実化を!
…中学3年生を対象とした子育て関連学習会を!
- II 外国人児童の就学対策について
…日本人と外国人が関わりあえる教育を!
…行政サービスの見直しを!
- III 街頭犯罪予防のための児童館型思春期少年施設と親・地域の役割について
…犯罪の起きにくい地域環境の整備を!
…小学生とボランティア団体による活動を!

議会の意見

子育て支援策に着眼してくれたことは大変嬉しい。多文化共生の視点からの提案に関心を持った。町に提案できることはしていきたい。現在、地域防犯パトロールは常永小学校周辺だけなので他2小学校にも広げるよう、教育委員会へ進言していきたい。



若者×議会

第8回学生と議員

平成27年12月4日、山梨学院大学との連携による研修の一環として、学生と議員とのワークショップを開催しました。

総務・産業土木・教育厚生 の3常任委員会に分かれ、グループによる提案発表が行われ、活発な意見交換をしました。

ワークショップとは？

講師（話し手）の意見を一方的に聞いたり、教材を読むだけでなく、参加者全員が講師（教授）の助言を得ながら積極的に関わり、問題解決のために行う研修会。



総務常任委員会

学生による提案

I 昭和町の防犯対策について

- …警察官を役場に派遣させては？
- …町民に防犯ベストを着用し、見回り安全運動を実施しては？

II 市民教育について

- …学生（中高生）が地域課題について話し合い、その声を議会に届ける環境づくりを！

III 地域創生について（山梨県のイメージ向上へ）

- …イオンモール駐車場を使用した「朝市」を！
- …押原公園を使用した「バザー」を！
- …交通マナーの改善を！

議会の意見

防犯対策については公民連携をより充実して図れるシステムを検証しては。市民教育は各ステップ（ワークショップや討議の場、意見交換会など）を参考に考えていきたい。地域創生については住民参加型イベントの提案や高齢者の運転に対する安全対策について検討したい。



会を実施

3日目 福島県郡山市



研修内容

- 1、議会活性化について（災害に対する議会の対応・本会議ネット中継等）
- 2、音楽によるまちづくりについて（音楽都市宣言・音楽を楽しめる施設）

研修目的

昭和町は地方交付税の不交付団体として財政健全化を保ち、人口は増加を続けているが、今後の町の将来を見据え、議会は行政運営に対し、町民の立場に立ち、しっかりした判断を行わなければならない。

そこで、県外の先進地事例を学び、調査研究し、町の発展に資するため、議員全員で視察研修を実施した。

研修を終えて

平成27年10月20日から22日まで3日間の研修だったが、名取市では、当時の津波被害の状況と、復興現場の関上地区の様子を視察し、広大な現地を目にして、まだまだ復興の遠さと厳しさを実感した。

加美町は人口減少を食い止めるため、音楽の専門学校を誘致し、町の活性化を計画していることを聞き、この事業の成功に町の将来をかけている意気込みが感じられた。

郡山市は福島原発事故のため、放射能による除染作業に追われていたが、少しずつ落ち着きを取りもどそうとしている。市では戦後から音楽活動を中心にまちづくりを行い、さらに合唱などを中心に、音楽活動を広げるための施設建設に力を入れており、強い活力を感じた。

各自治体は大震災を経験しながらも、財政力強化や人口減少に対して官民挙げて取り組んでいる。改めて本町の現状と将来を見つめ直す良い機会となり、多くの成果を得た研修であった。

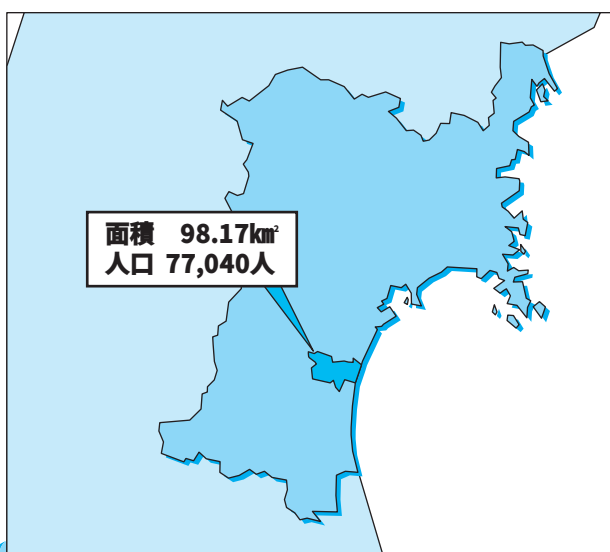
研修委員会委員長 河田 あけみ

議会 改革

議員県外視察研修

学ぶ議会

1日目 宮城県名取市



研修内容

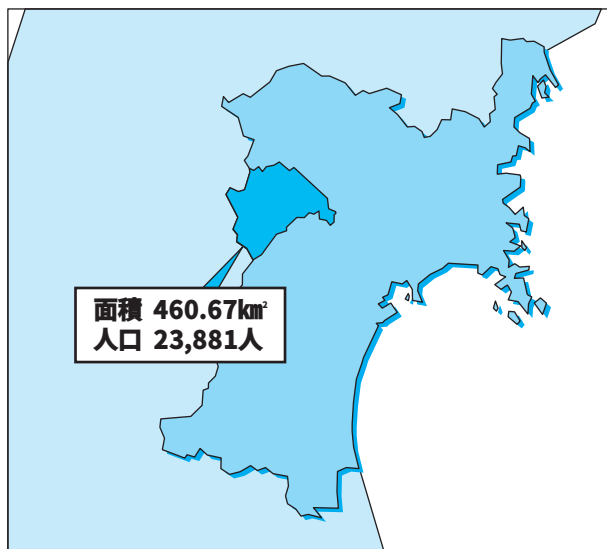
- 1、東日本大震災に伴う復興状況
- 2、防災計画
- 3、災害時における議員の行動

2日目 宮城県加美町



研修内容

- 1、文化および文教施設（国立音楽院^{くにたち}の誘致）



制度開始！

12月議会で
決まったこと



手続きはお済みですか

一般会計 全員賛成で可決

補正増額 2億4991万円（総額73億1840万円）

おもな財源

町税（町民税、固定資産税等）	2億3200万円
ふるさと納税	169万円
障害者自立支援給付費負担金	232万円

おもな使いみち

常永小学校エレベーター改修工事	300万円
常永土地区画整理地内の多目的広場整備追加工事費	550万円
財政調整基金への積立	2億1387万円

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計	11万円増額	（総額21億722万円）
介護サービス特別会計	85万円減額	（総額1668万円）
下水道事業特別会計	505万円減額	（総額10億1908万円）

平成27年12月定例会は、12月8日から11日まで4日間の会期で開きました。町長提出の平成27年度一般会計および特別会計補正予算4案件のほか、条例制定及び改正8件、その他3件の計15案件を審議しました。

一般質問では7人の議員が11件について活発な質問・意見を展開しました。

マイナンバー

条例の制定

- ・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例制定

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号（マイナンバー）の利用等に関する法律の施行に伴うもの。

（平成28年1月1日施行）

※全員賛成で可決

条例の改正

- ・税条例中改正の件
- ・税条例等の一部を改正する条例中改正の件
- ・国民健康保険税条例中改正の件

・介護保険条例中改正の件
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号（マイナンバー）の利用等に関する法律の施行に伴うもの。

（平成28年1月1日施行）

- ・指定介護予防サービス等の事業に関する基準等を定める条例中改正の件

・保育の必要性の認定基準に関する条例中改正の件
職業訓練受講講中も対象となるもの。

- ・下水道使用料等徴収条例中改正の件

使用料の値上げによるもの。

（平成28年4月1日施行）

※全員賛成で可決

その他

- ・普通財産の無償譲渡について（宗教法人増泉寺）
宗教法人が墓地として供している町有地を無償にて宗教法人に譲渡するもの。

- ・多目的広場整備工事

【1工区】請負契約（変更）

締結の件

芝生広場に散水栓設置及び、造成に伴う残土処理等の工事の追加に伴う契約変更。

【2工区】請負契約（変更）

締結の件

トイレ建物周辺及び、東側入口スロープ付近の擁壁工および排水工、自転車コース舗装工等の工事の追加に伴う契約変更。
※全員賛成で可決



供用開始まで、あともう少し！

水源対策

特別委員会

地下水マップ 作成時期は

依田議員 平成28年から山梨大学との共同研究事業として、町内の地下水状況を調査するようだが、井戸の掘削箇所はどこを予定しているのか。

環境経済課長 既存および新規ともに予定をしている。場所は未定。

田中議員 地下水調査の実施後、地下水マップ(仮称)の作成を考えているが、時期は。

環境経済課長 近隣市と協議する中で検討していく。当面は町独自のデータとして活用。

地方分権対策特別委員会

行政運営に おける評価は

石原(二)議員 町のブランド米であるヒノヒカリの生産は、面積を広げていく考えは。

総務課長 現在、約2%。町の気候に適し、美味しいと評判も良いので、面積拡大については前向きに検討していきたい。

町の 人口ビジョンは

鷹野議員 総合戦略の重点プロジェクトは実効性があるのか。

総務課長 人口増加を見込む中、既存のものはより一層の努力をし、新たに計画したものは交付金の支給を期待しつつ、

実行可能なものとしてそれぞれ作成している。

ふるさと納税の 現状は

三井議員 進捗状況はどうか。

総務課長 250件で総額250万円納税されている。(平成27年11月現在) 納税最高額は20万円。今後とも商工会と連携をとりながら、時期の野菜や果物等、品物を増やしていきたい。また、保養施設の契約を結んでいる松崎町とも協力し、特典について検討している。

総務常任委員会

防災無線難聴地域の 解消は

塚原議員 井戸端会議等で防災無線が聞き取りにくい地域が何箇所あると聞いているが、その後全体的に解消されているのか。

企画財政課長 区長会で説明し、業者による調査も進めている。現在でも聞こえにくいところが見受けられるので、その箇所には新たにスピーカー等の設置を考えている。

河田議員 役場前のキャッシュコーナー横の施設で、福祉団体がランチ等の営業をしていたが閉めてしまった。今後の活用は。

副町長 これまでお弁当や野菜等の販売をしていたが、施設現場の職員が辞め、人材不足の理由で閉めたとのこと。活動資金を補うための事業なので、内容等を考

え利用してほしい旨を伝えてある。団体側でもやる意志はあるので、運営再開まで少し待っていただきたい。

ふるさと納税に ユニークな特典を

堀議員 ふるさと納税の特典を増やせないか。たとえば高額納税者には町長室で写真撮影や、町長と対談ができるなどの「1日町長券」を発行することは。

総務課長 他市町村でも行っており、今後も充実していくよう、検討したい。

石原(高)議員 消防団の入団に対する特典について検討は。

企画財政課長 消防団員、またその家族を含めサービスが受けられる優待券を考えているが、実際サービスを展開している他市町村へ利用状況などの情報を聞き検討したい。

産業土木常任委員会

下水道使用料値上げは

依田議員 下水道の加入率によって、使用料の増減が変わるので

下水道課長 加入率（水洗化率）は供用開始時の人口から、実際に接続した人口で換算し91%（平成26年度末）。率による料金の変動はない。

鷹野議員 将来的には企業会計を設ける考えは。

下水道課長 国より人口3万人を基準に、各市町村にそれぞれ対応をすべき通知がきているが、町としては近隣市町村の動向をみながら検討していきたい。

薬袋議員 常永団地の植栽管理とあるが、コンクリート等で最小限に留めれば経費削減につながるのでは。

建設課長 緑地率は決められており、補助金対象事業のため、緑地を減らすことはできない。

プレミアム商品券で商店の活性化を

遠藤議員 プレミアム商品券を、地元商店で多く使われるよう考えてほしい。

環境経済課長 地元商店にも努力していただくよう、商工会と検討していく。



委員会の様子

教育厚生常任委員会

放課後児童クラブと児童館は

河住議員 放課後児童クラブの利用料金は2千円だが、小学6年生まで対象か。

福祉課長 最終的には平成31年度までに6年生までを見込む。29年4月時点では4年生までを対象と考えている。

河田議員 今後、放課後児童クラブと児童館は分離するのか。

福祉課長 国としては少子化に伴い、学校の空き教室を放課後児童クラブに活用し、児童館は現状として子育て支援を進めていく背景がある。現段階ではそのような方向性は示されていないが、町としては保護者のニーズに応えながら、予算の範囲で計画していきたい。



昭和町プログ・マスコット
“ほたるん”

通学路の改善策は

塚原議員 常永小学校の通学路である南北線付近等、その他通学路の改善策は。

教育長 教育委員会も安全策として歩道を設けるよう要望したり、スムーズに横断するよう指導している。

依田議員 平成28年6月から選挙年齢が18歳以上になるが、中学3年生くらいから、選挙の意識づけに議会傍聴など、政治に触れる教育の場を作ったかどうか。

教育長 公民教育として小6と中3で授業を行っている。県や町の選挙管理委員会の協力で、選挙については学んでいる。議会傍聴については授業のカリキュラムがあり、各学校と協議していきたい。

施策を問う ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 新年度予算は

A 自主財源確保に努める



石原 高明 議員

町の施策や事業を新たな総合計画の中にもどのように位置づけ、未来への展望をどのように考えるか、新年度予算編成に取り組む考えを聞きたい。

町長

昭和59年度から32年間で第11位と、うれしい報道があった。

石原 財政構造の弾力性を示す経常収支比率は70〜80%が望ましいが、昭和町は79・0と前年度に比べ10ポイント改善し、財政の柔軟性が高まっている。財政力指数も1・14と高く、財政は近隣自治体の中でも健全な状況である。

子育て支援や障がい者、高齢者福祉をはじめ、町民の安全・安心を高めるため、災害に強いまちづくりを推進し、市街化区域では生活基盤の整備、市街化調整区域では既成集落地との一体的な田園居住区の形成を図るよう、長期的展望に立った市街地づくりを検討

していきたい。

新年度予算編成は、将来にわたり安定的・継続的な施策実行のため、一つひとつの施策の効率性や実効性を向上させ、受益者負担の見直しや、自主財源の確保に努めていきたい。



保健師は心と体のケアに必要な存在
(高齢者健康教育の折)

Q 人材確保(保健師)は

A 組織体制見直しを検討する

石原

保健師増員で人件費が増えても、充実するサービス量や医療費抑制効果が見込め、投資に見合った結果を生み出せる。乳幼児から高齢者までの健康管理や、生活環境に大きな効果が期待できる保健師増員について、町の考えは。

町長

本町の保健師は、特定健診・保健指導、妊娠・出産・子育て中で特に支援が必要な方の個別対応等の取り組みや、児童や高齢者障がい者の虐待防止など、各担当課と連携して行っている。組織体制を見直し、機構改革など保健師の増員も含め検討していきたい。

Q 未来を見据え健幸社会創出を A 意識啓発や事業展開

一般質問



よだ しげみ 議員
依田 茂巳 議員

依田 昭和町は、日本全国人口減少に課題を抱えている中、県下唯一人口が増えているまちという評価を得ている。その反面、都市化の進行による価値観の多様化や人と人との繋がりが希薄になっているという懸念もあり、総合戦略における人口ビジョンも平成47年をピークに人口は減少に転じていくと見込んでいる。そのような状況を踏まえ、地域単位でその底力を競い合い、住まい・医療・介護が一体的に提供される仕組みである地域包括ケアシステムの充実、



自然と歩きたくなるまちづくりを目指して
(SWC首長研究会)

また、健康＝健康で幸せ、身体面だけでなく人々が生きがいを感じ豊かな生活を送ることができ、新しい都市モデル「スマートウェルネスシティ」の構築が、今後において必要と考える。そこで、昭和町ならではの施策、「歩いて楽しいまちづくり」を提案する。

そして、健康づくりはまちづくりの観点に立ち、みのぶ道・義清館跡及び杉浦醫院等の文化施設を生かし、まちの景観を整えた散歩道を創出し、その特色を内外に発信し、町民・行政・企業が一体となって「歩いて楽しいまち昭和」といった宣言を提案する。

町長

これまでのまちづくりの成果が、地方創生の考え方に合致し、人口増加や町の活力の維持に貢献している。将来人口推計では高齢者人口の比率が増加し、高齢化率が高くなる。

健康寿命の延伸は、検診体制の充実、食育や生涯スポーツの推進、歩くことでの健康づくりなど、各事業の相乗効果で達成できると考える。

健康長寿社会を創造する「スマートウェルネスシティ」構想は、比較的規模の大きい自治体で導入しているが、わずか9・08kmの昭和町にはなじまないと思えるが、まちづくりの方向性のひとつであると考えている。

また、「歩いて楽しいまち昭和」宣言は、健康寿命の延伸策等を進める上で良い提案だが、現状、これまでの多岐にわたる健康づくり事業を継続していきたい。

Q 睡眠と不登校問題は A 指導を継続していく



河住 保茂 議員

河住 睡眠は精神的・肉体的な健康を保ち、身体リズムを調節する働きを持っており、睡眠異常がうつ病・発達障害などに関係性を持つことも指摘されている。

将来を担う子どもたちの健全な育成推進のため、小中学校で睡眠不足が不登校にも影響するという医学的考えに基づき、睡眠教育の取り組みと不登校の児童・生徒の生活習慣を捉える調査を行う考えはないか。

教育長

夜間にスマホやインターネット、ゲームに熱中し、塾や習い事で夜遅くの帰宅で夜型人間が増加し、睡眠時間が不足する子どもが増加している。町内小中学校では、保健体育や家庭科の中で「リズムある生活を送ることの大切さ」「生活時間の見直しや朝の生活時間の見直し」などの指導を行っている。

睡眠時間に関する調査は、毎年実施の「スポーツテスト」の中で、全学年対象に行われており、結果は各学校の学校保健委員会などで発表されている。今後も各学校で、子どもたちや保護者が睡眠時間の大切さを理解できる指導を継続的・計画的に行っていく。



小学校の「ほけんだより」より

Q 学校の排せつ教育は

A 各学年の発達段階に応じ指導

河住

トイレの大切さや排せつと健康のかかわりを教え、価値観やイメージを転換することで、健全な学校生活を送る取り組みを行うべきだ。排せつ教育の実施で高い教育効果が見込まれるが、町の考えは。

教育長

学校保健計画の中で、トイレの正しい使い方や健康な体を作るため、排せつを規則正しく行う大切さを、各学年の発達段階に応じ指導している。「ほけんだより」でも、トイレの正しい使い方や排せつの大切さを取り上げ、保護者への啓発や、学級活動を利用した保健指導で活用しており、健康づくりを進めていきたい。

Q 安心して子どもが産める環境を A きめ細やかに支援



かわだ 河田あけみ 議員

町長 ①過去5年間で71件・45人、26年度23件。
②③出産から乳幼児期までき

河田 子どもが欲しくても望めない夫婦が増加傾向にある。県の調査では、不妊治療助成制度の利用者は、この10年間で約5倍に増加している。安心して子どもが産めるよう環境整備の拡大が必要ではないか。以下3つのことについて問う。
①本町では現在まで、何組の夫婦が申請をしているか。
②一般不妊治療の助成を拡大する考えは。
③特定不妊治療では、助成は通年3年間だが5年間まで延長すべきでは。

め細かな支援を実施。所得制限も設けていないことで、現行の制度を継続していきたい。

再質問

河田 不妊の原因は女性だけとは限らない、男性側の治療にも助成を拡大すべきでは。

いきいき健康課長 実際に男性の治療へ助成している近隣市の推移を見ながら検討したい。



命を宿し、育てるための環境充実を

Q 不育症への助成を

A 県実績も見て検討する

河田 不育症は2回以上の流産・死産、早期新生児死亡だが、不妊治療同様助成をする考えは。

町長 町では個人を特定した実態の把握が非常に難しく、実数の把握はしていない。保険適用外の費用を

県で助成対象としているが、実績をみながら町でも検討していきたい。

Q 手話言語の条例制定は

A 動向を見て検討する

河田 手話言語の条例を制定し、町民や教育現場で手話を取り入れていく考えはないか。

町長 手話が言語という認識に基づき、手話による情報伝達手段を広めることは、聴覚障がい者の利便性向上につながる。手話ボランティアの育成にも取り組んでいるが、近隣市等の動向も注視し検討していきたい。

Q 通学路の安全対策 (夜間照明設置)は A 安全対策を推進し 補助も行う



たなか ひろよし 議員
田中 博愛

田中

町内の小中学校は、指定の通学路が学校ごとに決められ、子どもを交通事故や犯罪から守り、安全・安心に登下校できるように、地区PTA・警察OB・地域住民や、行政の青色パトロール車など安全対策をとっているが、押原地区を中心に町内の3分の1は市街化調整区域で、下校時は暗く周辺には家もなく、非常に危険なところが何力所がある。

電線を引かず「太陽光」で、街灯の機能を持つ製品が開発されているが、危険個所を調査・確認し、通学路の安全対策のため、太陽光による夜間照明を設置する考えはないか。

町長

小中学生の登下校における安全対策は、PTAや地域のご協力、交通安全指導、見守り活動など積極的に展開され、敬意を表したい。

町も教育委員会を通じ、毎年各学校から通学路の危険箇所や改善要望をいただき、関係各課合同で現地確



太陽のエネルギーを安全対策に

認し、道路横断時の待機場所確保やカーブミラーの設置、路面標示等安全対策を講じている。各地区の防犯灯設置事業に対しては、交付要綱に基づき経費の2分の1、補助限度額1灯につき5万円を補助している。危険箇所の確認と夜間照明(太陽光)の設置については今後調査検討し、安全対策に務める。

Q 副町長を置く必要性は A 誠実な行政運営や 横の連携に必要



ほり もんたろ 議員
堀 門太

堀

バブル崩壊後の経済低迷やリーマンショックで景気が下降し、特に地方自治体の歳入も減少傾向にある。本町も町民負担の増額や支出抑制対策を実施するなど、町長・職員をはじめ努力しているが、人件費等の観点から気になるのは副町長職だ。

町長を代表責任者とし、町の運営を行う任務は明確化されているが、副町長は町長の代理や補佐などの漠然としたもので、各課長で対応できるものと思われる。他自治体では「副町長を置かない条例」を制定し、努力しているところもある。町をあげて支出抑制に取り組んでいる中、あえて副町長を置く必要性があるのか、町長の考えを聞きたい。

町長

行政需要は複雑・多様化し、たび重なる制度変更や新制度に対応するため、地方自治体の負担は確実に増え、自治体運営を的確・迅速に進めるなど、町民や議会の意見を聴き、町民ニーズにあった

Q 高齢化社会の 医療・介護は

A 関係機関と協議し検討



かね まる とみ かず
金丸 富一 議員

金丸

医療や介護の需要は、人口・年齢構成で大きく変化し、町の後期高齢者も1,500人を

超えている。団塊の世代が高齢化を迎える2025年を見据え、医療・介護の制度改革や見直しを進めているが、高齢化は避けられない状況だ。

世帯構成別をみると、死別や離婚によるひとり暮らし世帯の増加、高齢者夫婦世帯も増加し対応が難しいが、町では中長期計画の中で、どのような対応を考えているのか。

町長

団塊の世代がすべて75歳を迎える平成37年までの残り10年で、国・地方公共団体は、住み慣れた地域で人生の最期まで尊厳をもち、自分らしい生活を送ることができる社会の実現に向け、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」構築の実現が求められている。

町も後期高齢者が毎年



高齢化社会に向けた施策は

100人ほど増加すると見込まれ、認知症高齢者の増加も予想される。本年度から介護保険事業計画に在宅医療・介護連携推進事業を盛り込んでいる。老老介護や核家族化に伴い家族介護が低下し、介護の担い手不足が懸念され、在宅医療は町内の医療機関の通勤医師が多いなど課題が山積しており、取り組むべき事業は多い。平成30年4月に向け、在宅医療・介護連携推進事業は28年度以降、中巨摩医師会等、関係機関と協議し検討していきたい。



支出抑制策は

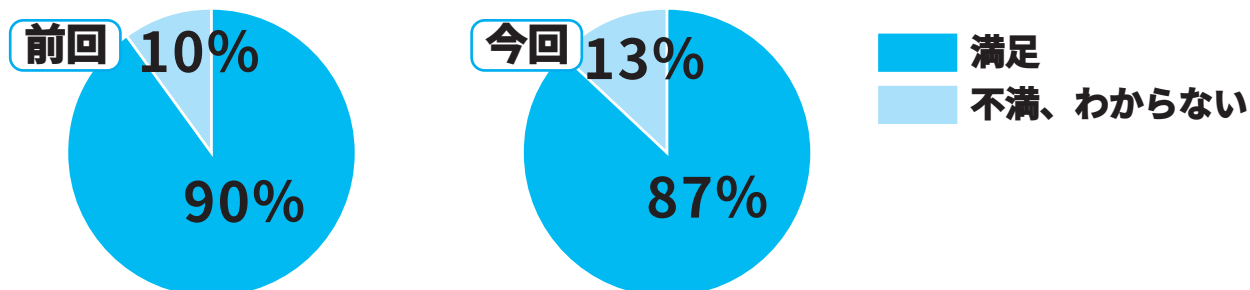
具体的な事業を具現化させ、実行する必要がある。職員の力を結集させ、スピード感を持って対応する必要性や、国・県・周辺自治体の動向を見ながら、必要な調整や連携を行うなど、単独町として持続可能な成長を堅持しなければならぬ。

「小さくても豊かなまちづくり」の実現を掲げ、町民の意見をもとに、議会や豊富な行政経験を持つ職員からの助言を聴き判断することが、誠実な行政運営だと常々考えており、幅広い知見を有し調整や補佐、町民や議会の相談窓口としての機能を併せ持つ人材の登用が必要だ。少数の職員でその能力を最大限に発揮するため、行政組織は縦割りではなく、横の連携も大切で、各担当課の意見を横断的にとりまとめる副町長という職は、必要と考えている。

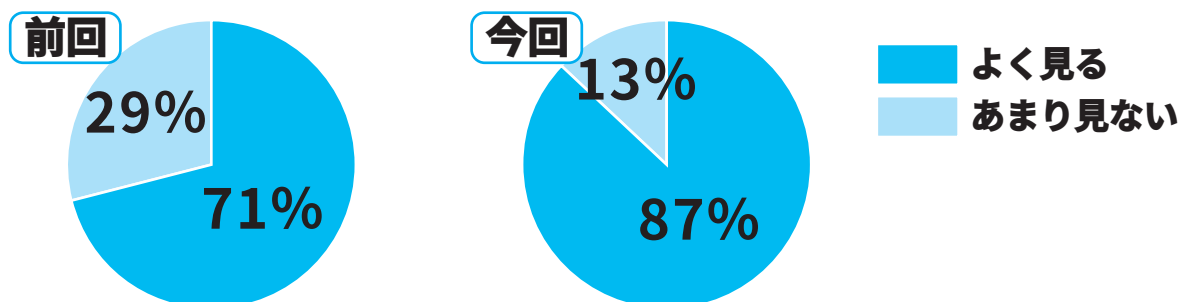
町民の代表である議会や、積極的に副町長職を活用し、10年、20年先を見据え、行政運営に取り組んでいきたい。

議会を審断！

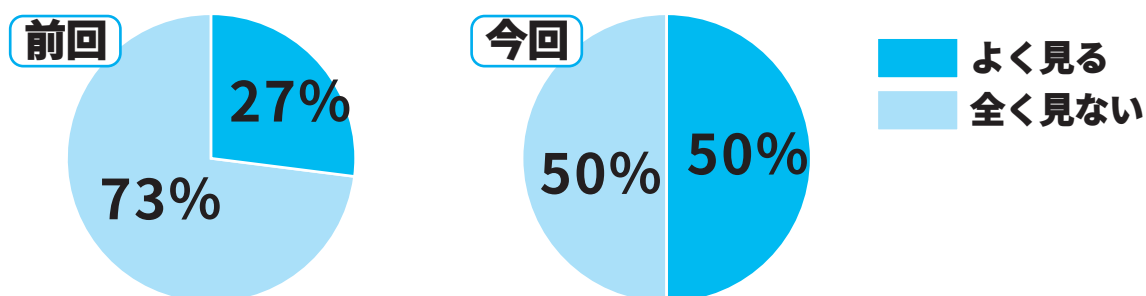
Q5 町議会に満足していますか？



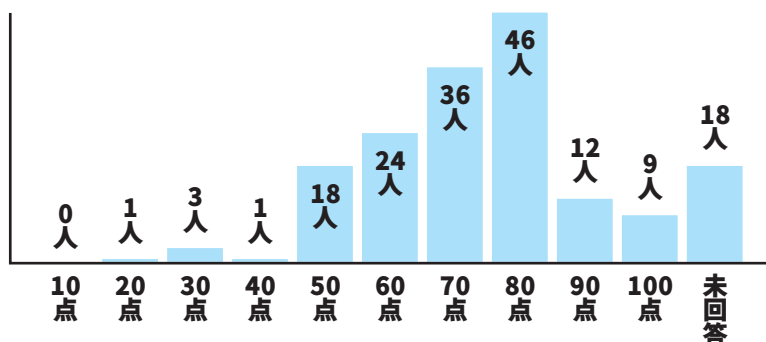
Q6 町議会だよりを見たことがありますか？



Q7 昭和町のHP内の議会の動きをみますか？



Q8 100点満点中何点ですか？



議会の評価は…

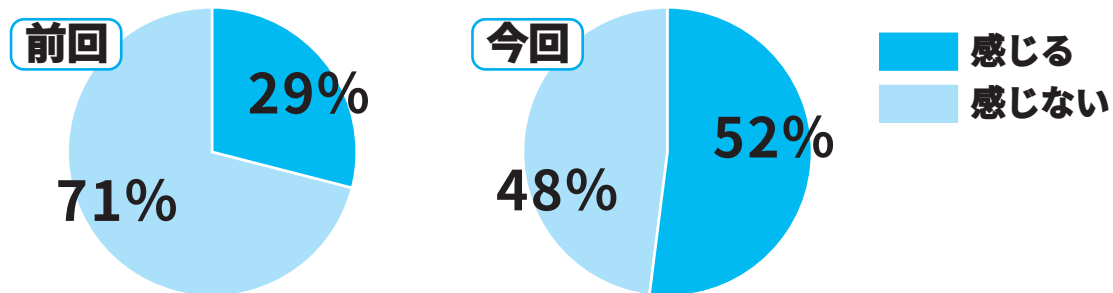
平均71点

前は平均65点でした

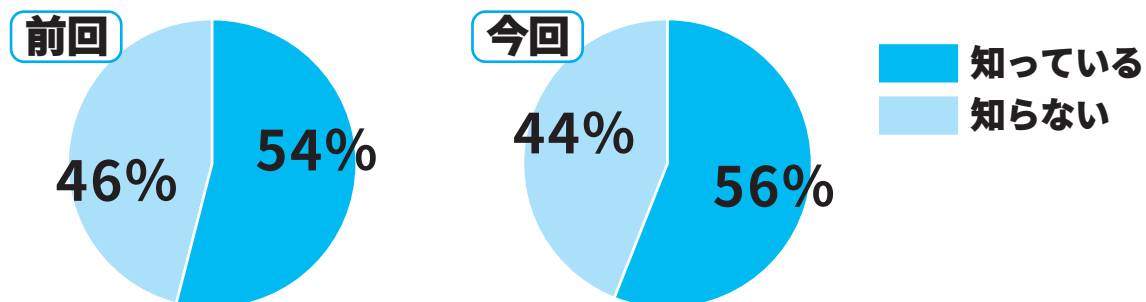
地方議会の責任や役割が重要視される中、当議会では町民の皆様に身近に感じていただける議会を目指し、井戸端会議や区長との意見交換会など、議会改革を進めてきました。しかし実際の議会の評価を知るべく、ふれあい祭り（平成27年10月11日）の際、議会アンケートを行いました。前回行ったアンケートの結果（平成21年10月開催のふれあい祭り）と比べてみました。

昭和町

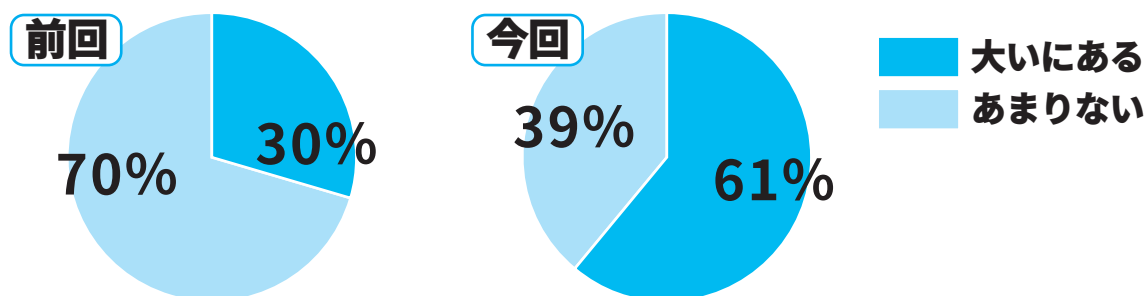
Q1 議会を身近に感じますか？



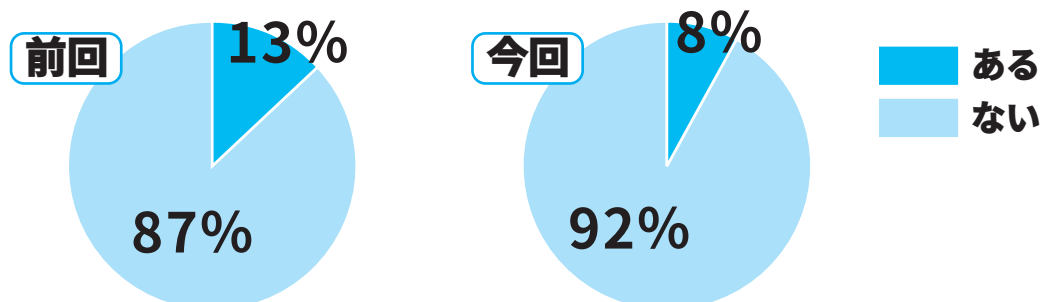
Q2 議員の顔と名前を知っていますか？



Q3 議会に興味や関心がありますか？



Q4 議会を傍聴したことがありますか？





井戸端会議

地域住民と議員の対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

飯喰区(第3回)

9月28日 区集落センター

●出席者 区民14人
●参加議員 教育厚生常任委員会
石原高明、金丸富一
河田あけみ、河住保茂
石原一好
三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 町内には義清神社など歴史的な文化遺産や、三名山の写真スポットがある。町内外の人たちに宣伝しては。

A 義清神社内には日本で一番低い山があり、また杉浦醫院やかすみ提など歴史ある場所がある。甲府広域や町文化協会が主催する散策を有効に活用するよう進言していきたい。

Q 町の温泉プール利用料金が町内外者とも同額であり、多くの町外者が利用した際、町民が利用できないときがある。差をつける考えは。

A 町民には12枚綴り3千円の回数券を発行している



日本一低い山を宣伝しては

Q が、多くの町民が利用できないよう当局と協議していく

Q 議員定数は16名で適正であるか、区民の意見を聞きたい。

A 議員当事者はどのように定数を捉えているのかを知りたい。

A 町は今、人口増加が顕著だが、このまま続くとはいえない。定数は減らし、その分、報酬に充ててもよいのでは。

※いただいた意見を参考に、条例改正も視野に入れ、任期中に結論づけたいと思います。

上河東二区(第4回)

10月16日 区集会所

●出席者 区民34人
●参加議員 産業土木常任委員会
中澤康夫、葉袋義久
遠藤辰男、樋口敏夫
堀 門太
三井 猛議長
河住保茂

●地元議員

おもな意見・要望と議会の対応

Q 高齢者世帯は庭の草取り等、管理が大変。また空き家も増えており犯罪につながる可能性がある。何か対応策は。

A どちらも区より町に事情を挙げていただき、町が所有者に問い合わせ、対応をお願いする。

Q 社会福祉協議会のボランティア団体も高齢化が進んでいる。特に災害時のボランティアは若い方に引き継ぎたい。

A 基本的に防災ボランティアの理事は運営に専念をしていただく。一つの検討課題として。

Q 区の消防団員は定員より2名欠で活動している。やはり消防団に入るメリット等、サポート体制が欠けているように思うが。

A 現在、自動車のオートマ限定の免許を持つ団員が、マニュアル免許を取得する場合は町より補助金が支給される。また消防団活動に協力をいただける事業者には、ステッカーを掲示していただいている。その他、商工会とも協議する中で、特典を検討している。



消防団員確保にメリットを

上河東区(第5回)

10月19日 区公会堂

●出席者 区民27人
●参加議員 総務常任委員会

林 和仁、依田茂巳
田中博愛、塚原將司
鷹野一雄
三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 議員定数・報酬について区民の考えでは減らしたほうが良いのか、ボランティアでも良いのではありません、多様な意見が出ている。議会はどう考えるのか。

A 山梨学院大学との研修会では、教授から定数を減らさないことも1つの考えといわれている。報酬も県内の町村では一番高く、調査研究しているが結論には至っていない。井戸端会議などで、町民の意見を聞きながら議論を深め、結論を出したい。

Q 押原・小井川交番はほとんど駐在していないようだが、どのような体制になっているのか。交番に行ったときに誰もいないこともあったが。

A 9名の警察官が配属されており、3名の交代勤務で24時間体制

で運営している。日中はパトロール等で外へ出ているが、交番には2名の相談員が交代で勤務し、緊急時にも対応できる体制をとっている。

Q 常総市のように、町でも水害が起きたらと思うと不安だ。町の対応と各地域の連携は。

A 釜無川の水位上昇で災害の恐れや、氾濫注意水位を超える洪水の予想がされるときは、避難準備情報を発令する。氾濫危険水位に到達が予測されるときは、避難勧告を発令する。避難所は町のHPに掲載しているので確認を。



釜無川氾濫
町の対応は!

清水新居区(第6回)

10月29日 区公民館

●出席者 区民37人
●参加議員 総務常任委員会

林 和仁、依田茂巳
田中博愛、塚原將司
鷹野一雄
三井 猛議長
●地元議員 堀 門太

おもな意見・要望と議会の対応

Q 委託児童のその後はどのようなになっているか。

A 以前より委託児童数は減っている。平成28年度については新入生10人全員が、西条小学校へ入学予定。

9月定例会で一般質問した際、町より「委託を終了することは町だけの判断ではできない。今後は甲府市と入学予定児童の保護者の理解を得るとともに、町としては円満に区の小中学生が、町内の学校へ進学できるよう努めたい」と回答を得ている。

Q 前回の井戸端会議の経過報告を簡単に説明した後に、会議を進めたらより活発になるのでは。

A 行政担当課の回答も含め、議会として報告書を作成し、区より



委託児童のその後は!

伺った部数で回覧をしていたいている。定例会の報告も兼ねた会議なので、時間の都合上、進行を調整させていただいている。ぜひ回覧を読んでいただきたい。

ようこそ！ 昭和町へ

議会視察受入

10月15日 長崎県諫早市議会

- 大学と議会との締結について
- 学生による模擬議会について
- 学生とのワークショップについて 他

11月4日 宮城県美里町議会

- 議会改革について（大学との連携、井戸端会議）他

11月5日 愛知県町村議会議長会

- 議会活性化の取り組みについて
（議会基本条例、大学との提携）他

11月13日 福島県町村議会議長会

- 議会モニター制度について
- 議会災害対策本部設置要綱について
- 大学とのワークショップについて 他

12月15日 愛知県東栄町議会

- 議会活性化について 他



学び多き研修会！ — 山梨学院大学との提携行事 —

第5回 9月29日

これからの高齢化社会と地域福祉 ／ 講師：竹端 寛教授

- 「地域ケア会議」を開催し、安心してボケられる地域を！
地域づくりには「ないものねだり」から「あるものさがし」が必要だ！

第6回 10月19日

財政状況の見極め方と不交付団体の財政の課題 ／ 講師：片田 興教授

- 「目的」「対象」「方向性」をしっかりとアピールすべし！

第7回 11月12日

市街化調整区域の諸課題について ／ 講師：中井道夫教授

- 農業後継者が不足・児童の増加が地区に差が出ている…問題を一つひとつ解消していきたい！

議員記者が行く



新しく始まった「議員記者が行く」は、昭和町内で活躍する人々にスポットを当て、活動の姿を追っていきます。テーマは「町を守る」。第1回は昭和町消防団取材しました。

Q 寒い中ご苦労さまです。

本日はどのような訓練ですか。

A 平成28年消防出初式に向けた訓練で、本日が最終訓練です。団員みんな特に気合が入っています。

Q 団員は現在何人ですか。

A 定員は118人ですが、現在116人の団員がいます。本部と12部で構成しています。

Q 消防団員の新規加入がなかなか進まないと言いますが、いかがでしょうか。

A 各部で定数が決まっています。若い団員から経験豊富な団員まで、バランスよく構成することが理想ですが、なかなか理想通りにはいきませんね。新規加入団員の確保は非常に厳しい状況ですが、各部や多くの方の協力で何とか体制を整えています。

Q 女性消防団員の加入、うちの町ではいかがですか。

A 本部では女性消防団員の加入を検討しています。活動内容はさまざまですが広報啓発活動等、女性の視点で活躍していただけることで、より消防団活動が充実すると思います。

Q 昨年8月の防災訓練は、コミュニティースクール事業の一環で小中学生も参加し、初めて実施されました。いかがでしたか。

A 非常にいい企画でした。生徒が消防団のことを理解したり、一緒に防災に関わる訓練をしたりと、これからも継続して実施していただきたいです。

Q 昭和町消防団の特徴は何ですか。

A 116人ということで、仲間意識が強いところでしょうか。日ごろの訓練から生まれることはもちろんですが、他の団と違い、少数で構成していることが連携の強さに繋がっていると思います。

Q 昭和町消防団が抱える課題点などがありますか。

A 少数精鋭で小回りが利く消防団ですが、団員確保に苦労しています。また、サラリーマンの方が多く地域外勤務の団員が多いことも課題です。後方支援に女性隊員も必要ですね。

Q 本日はお忙しいところありがとうございました。出初式やこれからのご活躍に期待しています。

A ありがとうございます。町の安全安心を守るために今後も頑張ります。皆さま方のご協力をお願いいたします。

後記

取材当日は天気も良く、昼は暖かかったのですが、夜は本当に冷えて凍えるくらいでした。団員の整列や報告、訓練はきびきびと、見ているほうは思わず背筋を伸ばしたくなりました。町を守る気概と思いが伝わる取材でした。

memo

◎昭和町消防団

- ・定員 118人（実員116人）
- ・事務局 企画財政課

※消防は市町村の事務で、消防機関の一部に消防団がある。団の長は消防団長として町長が任命し、団員は町長の承認を得て団長が任命する。団員は職業を持ち、災害時等に消防団員として活動するが、身分は特別職の地方公務員で条例に基づき報酬や出勤手当が支給される。

「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域住民を守るため、昼夜を問わず消防活動にあたっている。



取材に答える今村消防団長

カメラ：堀 門太 取材：依田茂巳

追跡

あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



国道20号線アピオ交差点に 地下通学路を

平成25年12月議会 質問者：林 和仁議員

問 交差点に柵やガードレールもなく、大変危険だ。地下通学路を新設する考えは。



安全対策のために設置されたポール

答 地下通学路は防犯の面でも留意が必要。立体横断施設や歩者分離式信号機の設置など、実状を検証し国・県に要望していきたい。

その後

交差点付近の車止めは15本設置したが、地下道の設置は難しく、歩道橋は学校・PTA・地区の合意形成が必要との国交省の見解でした。

議会モニター決まる

平成27年11月27日、議会モニターの委嘱式を行い、新たなメンバーで活動をスタートさせました。任期は2年。主に議会だよりについて意見を伺い、議会活性化の一助として活躍していただきます。また身近に感じていただける議会を目指すため、議員全員と意見交換会を開催していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



前川 明さん
(西条二区)



石原政信さん
(西条二区)



雨宮 稔さん
(河東中島区)



蒔田和重さん
(紙漉阿原区)



興石吾郎さん
(築地新居区)



小林博之さん
(上河東二区)

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。

ヒント 議会だより168号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 学ぶ議会を実施 宮城県〇〇市と〇〇町・福島県〇〇市を視察
- 2 昭和町議会を審断! 評価点数は〇〇点
- 3 「議員記者が行く」、第1回目は昭和町〇〇〇〇取材
- 4 議会モニター〇人で活動開始!

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました!



昭和町から南アルプス市に嫁いこ
20余年
実家に寄ると昭和広報や議会だよりを見
ても充実した内容のびっくり特にQ&A
は良い企画だと思ひます
生まれ育った昭和町を誇りに思ひ今後の
発展を期待します。

(62歳・女性)



議会の動きが身近に感じられて良いです。
昭和町に転居してきて5年になりますが、
以前の居住地よりも議会が身近に感じられます。
(女性)

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・議会だよりを読んだ感想」を記入してください。FAXやメールも受け付けます。

議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX: 055-275-0370
- メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

2月末日 消印有効



167号クイズの答え

- ① AED
- ② 1.10
- ③ 議員記者が行く



。れ年前に「普通救命講習修了証」を頂いてあり
ます。が普段使わないので忘れてしまひました。
年に一回位講習をして下さると助かります。
。議員記者が行く「素晴らしい企画ですね!!」
色々な活動している人が大勢いる反面、そんな
活動があつたの……?と知らなかった人も大勢
いるので良い企画だと思ひます。

(69歳・女性)

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

結束力・住民力の強さに感嘆



西条二区

佐藤 恵子さん

28年前、西条一区に土地を購入し、平成15年に家を建てて引っ越してきました。瞬く間に開発が進み、都市施設の充実した住宅街となりました。

12年間住んで感じたことは、都市計画や交通の利便性の高さばかりではなく、地域の方々の結束力の固さ、住民力の強さです。記憶に新しいところでは、2年前の豪雪時、早朝より近所総出で雪かきをしたことです。ご近所の方がそれぞれ知恵や道具を出し合い、自分の家の玄関先ばかりでなく、他の家の大変なところまで、時には冗談を交えながら笑い声とともに、夕暮れまで協力し合ったこと、翌朝にはブルドーザーが来て素早く除雪し、いち早く交通網が復旧したこと。「遠くの親戚より近くの他人」ということわざ通り、心に残る思い出となりました。

また、子どもたちが雪の降った翌朝は、授業が始まる前に校庭の雪かきをするのが慣例とのこと、そして礼儀の正しさに驚きました。家の前を通る見知らぬ子どもたちが、皆、頭を下げてあいさつしてくれそうです。私のほうが戸惑ったものでした。

恵まれた環境で暮らせることを、組の方々、そして行政の方々の尽力のお陰であると感じつつ、私も町のために協力したいと思っています。

ショッピングセンターと田畑



上河東二区

小林 博之さん

私たち夫婦はちょうど30年前、結婚を機に昭和町に移りました。職場に近くなる、身延線の駅に近い、医大に近く、ショッピングセンターもあり、田園風景も広がっているという理由でした。昭和町はそんな私たちの欲張った願いを十分満たしてくれました。

仕事で忙しい時、町の温水プールでひと泳ぎして、温泉につかるのは良いストレス解消になりました。肩こりにもプールは効果てきめんでした。

今はメタボ解消を目指して、妻とできる限り歩くようにしているのですが、妻はショッピングセンターに寄りたくて、私がリュックを担いで散歩に出かけます。牛乳などがあるときは、帰りは少々重くなりますが、体が鍛えられると思い、重いリュックも苦になりません。

散歩道には田園風景が広がり、四季折々の景色や野鳥などを楽しんでいます。田植えが済んだ後の緑のじゅうたんが敷き詰められたような青々とした景色、稲穂が見事な黄金色になる収穫期、この収穫期には一家総出で刈り取りや稲かけをしている姿をよく見かけるのですが、20数年前の自分の姿と重なり、懐かしさも羨ましくも感じます。

町の中に田舎がある昭和町の良さを満喫しています。

あけまして
おめでとーいございます

新議会構成の下、新しい年を迎えました。今年も井戸端会議をはじめ、山梨学院大学との研修会や議員防災訓練等を行い、更なる議会のレベルアップを目指します。

そして議員一丸となり、町民のため、町のために精一杯尽力してまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

議長 三井 猛
議会議員 一同

●広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁 石原 一好
金丸 富一 依田 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

3月1日(公)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(今澤 機部)